

「卒業する人々に」  
 櫻の花ちり／＼にしも  
 わかれ行く 遠きひとり  
 と 君もなりなむ  
 (「春のごぶれ」)  
 釈 遥空

国学院大学 令和4年3月20日(日) 定期号(毎月20日発行) 1部20円

[発行]国学院大学 [編集]総合企画部広報課 〒150-8440 東京都渋谷区東四丁目 [電話]03(5466)0130 [FAX]03(5466)0528

祭 儀 ■ 入学奉告祭 4月1日(金) 午前10時 神殿

## 困難を 歩みを進め 未来へ

国学院大学は、令和3年度(130期生)に大学院80人(博士前期課程71人、博士後期課程9人)が修了を迎え、14人が所定単位修得退学。5学部2484人(文学部759人、経済学部632人、法学部573人、神道文化学部182人、人間開発学部338人)9月卒業(含む)、専攻科24人、別科3人の合計2605人がそれぞれの学びを修め本学から旅立った(人数は3月14日時点)。

大学院学位授与式は3月19日、渋谷キャンパス百周年記念

講堂で行われ、5学部と専攻科・別科の卒業式は同20日にグラウンドプリンスホテル新高輪「飛天」(東京都港区)で挙行。卒業証書・学位記、修了証書の各授与式は渋谷キャンパス、たまプラーザキャンパスへ移動して行われた。感染予防策の下、恩師や友人らと集い、卒業生は学び舎を後にした。

令和2年1月に新型コロナウイルス感染者が国内で初確認され、その後の感染拡大は学生たちの勉学をはじめとした学生生活に大きな影響を及ぼした。目

に見えないウイルスは全世界に混乱をもたらし、わずか2年あまりで社会のあり方が激変した。針本正行学長をはじめとする機関長は、コロナ禍での経験があるからこそ、歩みを進めて未来へ向かってほしいと社会へ

巣立つ卒業生へエールを贈る。一方で、3月末で定年退職を迎え、卒業生とともに大学を後にする教職員は9人。キャンパスで過ごした時を振り返り、「惜別の言葉」を寄せた。

## 卒業後も新たな学びに 挑むことを期待する

学長 針本正行



卒業おめでとうございます。所定の課程を修めて、皆さんがそれぞれの思いで選んだ道へ旅立つことを心から祝福いたします。

未曾有の災禍が全世界を襲っています。社会状況も混沌としました。本学は、感染防止対策を講じた上で、授業科目の特性を踏まえた多様な授業形態を採用しました。皆さんは、対面授業、遠隔授業、対面・遠隔の併用型授業などさまざまな授業形態に、当初は困惑していたものの、真摯に学びに取り組んでくださいました。就職活動も、リモート面接が一般的となり、自らの

能力、志向の表出に工夫をされた日々であったかと思えます。このような状況の中で、自らの思いに對峙し、新たな道に向かおうとしている皆さんに心から敬意を表します。

大学の学びでは、各学部・学科の課程を修める中で、今まで知らなかった、法則、理論などの「知」の獲得をはじめ、その「知」がどのような過程を経て法則化されたのかという「知」の研究も学んだことでしょう。個人で完結する学びだけではなく、科目によっては、グループ学習などにより、同じ課題について討議し、発表資料を作成し、ともに学び合うことも経験したことでしょう。時に、討議する際に、同じ資料をもとにしながら、異なる思考が提起され、驚きを覚えたこともあったのではないのでしょうか。皆さん、それぞれが自身の学びを問い直し、ともに学び合うということとは、さまざまな背景を持つ人々の在り方を尊重する共生社会で生きていくことに資するかけがえのない経験といえます。

卒業後も、大学の学びをもとに、日々、新たな学びに挑み、皆さん一人一人が自己実現を果たされるよう期待します。

## みはるかすもの

「戦い」という言葉を好きにはなれない。「ウイルスとの戦いに勝つ」と聞いてはや2年。いつしか「ウィズ・コロナ」と共存を模索している▼ましてや武力で我が意を押し通そうとする試みを、誰が喜ぶだろうか。威勢のいい指導者の言葉とは裏腹に、人々は悲しみ、怒り、傷ついている▼

恋しいだろう。祖国が恋しいだろう。故郷が恋しいだろう」と涙する。今、欧州から届く報せは120年前の再現なのだろうか▼「田舎教師」は、主人公の旧制中学卒業から始まる。「どんな生活でも新しい生活には意味があり希望があるように思われる」。学生から新米教師となる主人公の高揚感が伝わる▼今まさに卒業や修了の証しを手に、「新しい生活」に歩みを進める皆さんの胸に去来する「希望」は何である。物語はこう続ける。「学校の窓からのぞいた人生と実際の人生とはどこことなく違っているような気がだんだんしてきた」と▼「学び舎を巣立つ皆さんの「実際の人生」は、思い描いたそれと違うかもしれない。しかし、予期せぬ出来事や出会いが幸福を運んでくれることを信じたい。人生の糧となる学びを本学で磨いてきたはずだから。





## 卒業おめでとう

## 日々を大切に、最善を尽くして

入学した時には思いもよらなかった、世界的な災禍に見舞われた数年間。学生時代というかけがえのない時間なのに、皆さんの3・4年生の時期には思い通りにいかないことが身近にあふれ、鬱々とした気持ちになったこともあるでしょう。大学生活を振り返ってみて「最高の時間だった!」と言える人は、残念ながらほとんどいないと思います。

世の中にあるものの多くは、方向を変えることができます。物質的なものはもちろん、音も光も、です。しかし、時間だけはそれができず、前に進み続けま。今から、歴史的な事実をなかつたことにはできません。大事なことは、限られた環境を嘆くだけでなく、できることは何かを必死に考え、最善を尽くすことなのだと思えます。そして皆さんは、それができたからこそ、卒業という栄誉を手に入れることができたのです。それは、大いに誇って良いことですし、今後も最善を尽くし続けてほしいと思います。

皆さんの目の前には、学生時代よりはるかに長い人生の旅程が広がっています。険しい道、緩やかな道、いろいろな道を進む過程で、いくつもの分かれ道があるでしょう。選択に迷ったら、険しそうな道を選んでみてはいかがでしょうか。上を目指して歩く方が鍛えられますし、一山を越えた先に、より良い景色がみられるはずです。

最後に、カーリング「ロコ・ソラーレ」代表理事・本橋麻里さんも引用した、アメリカの歴史家アリス・モース・アールの言葉を贈ります。「Yesterday is history, Tomorrow is a mystery, and Today is a gift. That's why it is called "present"」昨日はすでに歴史であり、明日のことはわからず、今日こそが贈り物。だから、現在を「present」(プレゼント)と呼ぶ。日々を大切に、最善を尽くして。卒業、誠におめでとうござい

文学部長  
矢部 健太郎

## 社会人生活における「理屈と人情」

ご卒業おめでとうございます。ご入学のたゆまぬ学修の成果に対し、心より敬意を表します。

皆さんは、所属する学部や学科において、専門的知識の修得と、それに基づく思考力の研磨に努められました。これらの知見は必ず、今後の社会人生活において、皆さんを輝かせる武器となります。しかしながら、知識の一方的な披瀝や、「正論」の強調は、必ずしも歓迎されるわけではなく、むしろ反発に遭うこともあります。かといって、周囲への同調にばかり意を尽くしていれば、正道から外れるおそれもあります。「智に働けば角が立つ、情に棹させば流される」とは、まさにこのことを指します。

民法学者の我妻栄(1897~1973)は、法律における理屈と人情の調和という問題について、理屈を司る法律(大前提)が固定であるとしても、これを当てはめる事実(小前提)を動かして、人情にかなう結論を導くことができるとして、フィクションを用いた解決を、「嘘の効用」と呼びました。その一方で、我妻は、事実に法律を当てはめる作業(解釈)においても、精緻でありながら柔軟な論理システムの構築こそが最善であると説きました。

こうした「精緻性と柔軟性の併存」とは、法解釈のみならず、あらゆる社会生活、とりわけ経済活動においても極めて重要であるように思われます。対人関係における上首尾が、実は、相手方との対話の中で得られる納得に基づく相互の妥協に求められるとすれば、以前にも増していまや、十分に練られた思考と臨機応変な姿勢こそが鍵であるからです。社会人としての皆さんが、骨太に、そしてしなやかに活躍されることを期待します。

法学部長  
一木 孝之

## 道をひらく

卒業おめでとうございます。国学院大学を卒業し、社会に羽ばたく130期生の皆さんに心よりお祝いを申し上げます。

近年「予測ができない社会」が一つのキーワードになって、将来の社会を切り開いていく資質や能力の開発が大きな話題になっています。皆さんが大学生活を送った期間はまさしく「予測ができない社会」の到来を実感させられるものでした。新型コロナウイルス感染症の蔓延により、これまで当たり前だと思っていたことが根底から覆される事態が起こりました。皆さんはこれまでの大学生とは明らかに違う経験をしました。

大学での授業形態にオンラインが加わり、人と人がじかに顔を合わせて行う対面形式以外の形が可能になりました。人と人を繋ぐ形が技術によって多様になったことで、気づかされたことが多くあります。わたしたちは社会的な活動に必要な情報をどのように手にしているのでしょうか。実は直接、人と出会うことで得ている情報はむしろ少ないかもしれないのです。オンラインなどの活用の可能性を感じる部分です。では、わたしたちが人と直接出会うって受け取っているのはどんなことでしょうか。情報そのものというより情報の周辺にある事柄といえるのではないのでしょうか。例えば一緒に活動する仲間の様子や表情、仲間同士の空気感を受け取って、自分たちの糧にしていることが多いと思うのです。

オンラインと対面双方を経験した皆さんには、真に必要な情報を得る方法とそれらの情報の周辺でもたらされる事柄の双方の価値を意識し、新しい道を開いていっていただきたいと切に期待しています。

人間開発学部長  
成田 信子

## 勇気をもって未来へ羽ばたこう

卒業・修了、おめでとうございます。皆さんの人生にとって大切な時期を、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行に振り回されたことを思えば、感慨もひとしおのことと思います。

この感染症に限らず、私たちの住まう世界は、さまざまな危機に満ちており、この先の未来を予測することは困難です。とはいえ、疫病の世界的な流行に関しては、100年前のスペイン・インフルエンザが想起され、11年前に起こった東日本大震災に関しては、約1100年前に起こった貞観地震が想起されました。そのように、繰り返されてきた災禍の経験に学び、いかに今の状況に生かしていけるかという課題も重要です。

本学の校歌に歌われる「もつつ教」・「もつつ心」に、そのような危機を乗り越える知恵を読み込んでみることは、決して的外れなことではないと思います。例えば、天岩戸を押し開くことに成功した神々の踊りや笑い。例えば、災いを罪過によるものと受けとめてなされてきた「祓」。

皆さんが本学で学んできたことが、これからの時代を生きるためのヒントとなり、下支えとなることがあれば、これ以上の喜びはありません。

そして、そのような時代をぜひ勇気をもって進んでいってほしいと願います。坂村真民という詩人による、「鳥は飛べばねばならぬ」という詩があります。「怒濤の海を／飛びゆく鳥のように／混沌の世を／生きねばならぬ」という詩句が鮮烈で印象的です。全文はぜひ詩集を探して読んでみてください。私はあることをきっかけにしてこの詩を知りましたが、何か困難を覚えるたびに心の中で反すうしています。

別科長  
黒崎 浩行

# キャンパスと別れの時

## 退職教職員から惜別の言葉

この3月をもって本学を去る方々の中から、定年退職を迎えたち8人の教職員に、学生、教職員への「惜別の言葉」を寄せてもらった。

### 事実とそれを超える記憶に感謝して

文学部教授 齊藤 こそすゑ



国学院大学で勤め始めた春、昭和56(1981)年4月1日は、明るい陽光に包まれた暖かい日で、キャンパスには学生が溢れ、新学期のオリエンテーション中、部活動誘いの声が飛び交いにぎやかだった。私は学長室に集まった当時の全学部合わせて10人を超える新人教員の中の最年少の一人だった。昨日までの院生が急に教員になり、まだ足を踏み入れて数回でしかない国学院大学の中で何もかもが新鮮だった。と、ここまで書いて過去の天気を調べてみた。なんとこの日は最高8.2度、最低2.7度、曇りのち雨という例年にない寒い日だったらしい。陽光の中に桜咲く新学期という定番イメージが記憶を塗り替えていたのか。いやこの塗り替えは加齢のせいでも正常化バイアスでもない、明らかに私の記憶が描いた国学院の初日の心象なのだ。その41年後の今、想像を超えるコロナ禍の2年を経て、最後の日は、そしてお世話になった歴代の教職員の皆さんや学生さんたちとの記憶は果たしてどのように描かれるのか、とても楽しみである。

### 中継ぎ冥利

法学部教授(特別専任) 中川 徹也



法科大学院実務家教員14年、法学部5年、合計19年間お世話になりました。法学部では、シチズンシップ教育としての「法と社会参加」(全学部全学年)の講義や「臨床法学演習」(法学部生)の演習などを担当し、前者では企業法に関する問題がどのような事象として生じているか新聞記事などで紹介し、後者では法科大学院での学修内容である要件事実を取り上げました。いずれの科目も、法科大学院で実践した「理論と実務の架橋」と同様に、法学部の基本科目を実社会や法律実務へと結ぶ中継ぎを課題としました。十分な講義・演習はできませんでしたが、演習では意欲ある学生が要件事実に取り組み、法科大学院に進む者も多く、予備試験の合格者も出るという吉報をえることができました。退任後は、担当してきた講義・演習を教え子である本学法科大学院修了の弁護士2人が引き継いでくれることになりました。中継ぎ冥利に尽きます。どうもありがとうございました。

### 稲妻や瞬く暇の人一世(勝海舟)

経済学部教授 土田 壽孝



まさしく瞬く暇の国学院大学での35年でした。楽しく、素晴らしい研究・教育環境を与えてくれた国学院大学に感謝します。35年間のゼミでは、夏休みに、通算25回のアメリカ横断旅行を実施しました。大抵は23泊25日の車旅です。学生たちといろいろなものに遭遇しました。行き当たりばったりに行った街々では、映画やマスコミに語られるアメリカとは全く異なる、人々の真実の姿や生活を見ました。辺鄙な田舎町のアメリカ人が、ゼミのテーマである証券投資の話で、彼の自宅のウッドデッキでビールを飲みながら、大ボラ交じりで学生たちに語ってくれました。大都会ニューヨークでは、学生たちは証券投資の中心地Wall St.(ウォール街)のNYSE(ニューヨーク証券取引所)を見学し、毎日3万円の高級ランチを貪る世界に驚嘆していました。学生たちとの楽しい思い出は尽き果てません。しかし至福の時は過ぎました。国学院大学のさらなる発展を願って、渋谷の丘をくだります。婆娑羅者、去ります。

### 斯道興隆のために

神道文化学部教授 茂木 貞純



平成17年4月から、17年間にわたり教壇に立ち、無事に退職まで教鞭を執らせて戴いたことに感謝申し上げます。瞬く間の事、過ぎ去って見ると短い時間でした。この間、主として神職養成の業務に関わり、祭祀作法の授業を担当しました。平成14年に神道文化学部が創設され、学部長の要望で新学部の行事として成人加冠式、観月祭を始めることができ、学生のスキルアップに貢献できたと思います。これに伴い文部科学省の援助で舞楽装束、院友神職会寄贈で祭祀装束の充実が図られ、第二祭祀教室を設置するに至りました。これらの2大行事は盛大な大学行事に成長し、今後がますます楽しみです。先任の沼部春友先生とともに祭祀関係のテキスト2冊を上梓できたことも良い思い出です。神道祭祀は、日本社会の中でますます注目されて行くと思います。これを支えるのは、言うまでもなく国学院大学のスタッフ一同です。斯道興隆のため一層頑張らましよう。

### 国学院大学での保育者養成を振り返って

人間開発学部教授 石川 清明



実践力のある幼稚園教諭養成の名門校と保育界から評されていた学校法人国学院大学傘下の「幼児教育専門学校、保育科2年課程」に平成4年11月に着任し、同15年から保育士不足への対応として「専攻科1年課程」を開設し3年間での保育士養成にも携わってまいりました。保育者には育児相談や子育て支援など多様な力を備えていることが求められ、同23年から「人間開発学部初等教育学科」での幼稚園教諭養成に携わり、同25年の「子ども支援学科」新設などこれまでに30年近く国学院大学で保育者養成に携わってまいりました。その間、自由な雰囲気の研究環境のもと同僚に恵まれ、優秀な学生とともに学び、保育現場や保育行政など他機関との連携を深め、国学院大学における保育者養成の充実発展とともに歩めたことは大変幸せであり深く感謝しています。「子ども支援学科」が、人間開発学部、大学全体の発展とともに飛躍し続けることと教職員の皆さんのご健勝を心からお祈りいたします。

### 縁は異なるもの

人間開発学部教授 柴崎 和夫



南極から戻って半年ほど過ぎ、研究室の指導教官から紹介されたのが、国学院大学での一般教育(自然科学)担当の職でした。当時は国学院大学の名もよく知らなかったのですが、37年間も務めることになるとは、世の中分らないものです。後に知りますが、高校の担任など、お世話になった先生方も国学院出身でした。思わぬところで縁が繋がっていると思いました。そして赴任した国学院大学は非常に開放的で、教職員の皆さんも自由闊達に発言していたのが、ある意味衝撃的でした。全学教授会もあり、とても民主的な雰囲気に満ちていました。この良い雰囲気を、今後もぜひ残して頂きたいと思います。大学での役割も経験し、教職員の皆さんとともに働いたこと、苦楽ともに楽しい思い出です。また、最後の12年間は、人間開発学部で多くの学生とも密な交流ができたのはとても幸せな経験でした。今後も国学院大学の応援団として、大学の一層の発展をお祈りします。

### コロナ禍で得た「新と真」

人間開発学部教授 野本 茂夫



退任前の2年間が思いがけずコロナ禍で過ぎました。不自由さや不便さ、不安や心配などから数々の問題や課題が突きつけられ、犠牲や諦めを強いられました。学生も教職員もみな同じ体験をしたと思います。その中でこれまでの大学生活を振り返ることになりました。失った生活の中で改めて大切であったものを再発見したり、これまでは躊躇していたことに果敢にチャレンジし取り組んだりもしました。その過程で個人や組織も隠されていた才能や能力が拓かれたことと思います。苦しい時でしたが数々の発見や学びを得ました。それは、単に「新」に置き替えて済むのではなく、これまでを振り返り何が大事なのかを再発見、再認識することから気付く「真」の学びであったはず。柔軟に寛容に考えながら新しいよきものを取り入れ融合し、本来の真を生かして切っていくのが国学院の学びです。コロナ禍で経験した「新と真」を融合し、さらなる創造的な学びの共同体文化を切り拓いて下さい。

### 関係者みな協働し「人づくり」を

研究開発推進機構事務課主幹 中條 豊



昭和54年以来43年間、その大半を学生や保護者とともにふれ合う部署で働くことができ、人とのつながりや心遣いの大切さを学び得ました。また、幾多の関係者と連携協力し「人づくり」に関わり、その醍醐味を味わい、やりがいを感じて、たいへん幸せでもありました。感謝申し上げます。昭和40年11月、チャールズ・B・ファーズ名誉博士は、創立83周年式典で「本大学の指導者の方々が、日本古来の文化と伝統を大切に維持すると同時に新しい構想を求め、勇敢に将来を見ようとして、真剣な努力をされていることに感銘をうけた」と語りました。この一節は、今なお勇気を与え自覚を促してくれます。「祖先の道は見よこゝにあり 子孫の道は見よこゝにあり」に通底するからです。グローバル化、多様化が加速化する現在、本学の存在意義と使命はますます重きを増すでしょう。関係者みな、それぞれに知恵を出しながら協働しつつ、いつに「人づくり」に取り組んでいかれることを願ってやみません。

## 国学院大学 院友会

へようこそ!

### 国学院大学の同窓会

国学院大学の卒業生は、「院友」と称され、一般財団法人国学院大学院院友会(吉田茂穂会長)昭和40卒・73期政経、昭41修・74期神専の会員となります。令和4年3月1日現在、会員の総数は16万人を超えています。また、全ての都道府県に支部があり、合計59支部を数えます。他に学術関係、マスコミ関係、経済学部関係、法学部関係と職域などに分かれた4つの協力団体もあります。本会の活動は、母校の設立趣旨を発揮し、本会の発展と母校の隆昌に寄与することを目的としています。これらを達成

### 国学院大学院院友会の歩み

明治15年に国学院大学の母体・皇典講究所が設立され、20年にその卒業生が「水穂会」を結成したのが院友会の原点です。23年に「国学院」が皇典講究所の教育機関として設置され、27年にその卒業生によって「水穂会」とは別に「院友会」が組織されました。その後、2つの会が共に活動するようになり、神職関係の「教友会」も昭和7年に加わり、「院友会」として統一されています。

### 明治20年「水穂会」結成が原点

院友の結核は他大学に類を見ないほどで、各地・職種で活発な活動が続けられました。昭和6年には大学に隣接した現在地に1093平方メートルの土地を求め、組織も財団法人と進み、7年には初代会長・宮西惟助氏の推進によって「院友会館」(627平方メートル)が鉄筋コンクリート2階建てで建築されました。会館は本会活動の拠点となり、卒業生・在学生・教職員の会合などにも盛んに活用されました。しかし、55年ごろから老朽化・狭小化などにより、新たな会館建設を求め、声が高まり、第9代・小林武治会長の60年度から募金を開始。61年4月に着工、翌62年4月には現在の新会館が竣工しました。

### 地域発展の使命を

新しい会館の完成とともに、全国の院友の間に組織の強化・活動の活性化への新たな息吹がみなぎり始めました。会館は、院友の活動拠点としてのみならず、学術・文化・芸術活動の場としても利用され、若い世代の会員の協力により、本会が飛躍発展する機運が興り始めました。さらに、国際交流や学術・文化教育への振興・助成活動に力を注ぐ計画も準備、母校の発展に加え地域の発展にも資する使命を発揮しています。

### 恒例の院友大会は秋以降に

平成18年5月に公益法人制度改革関連3法が成立したことにより、新しい制度に移行すべく「定款」(法人の基本規則)を作成、24年6月15日に内閣府への移行認可申請を行いました。その後、9月19日付で内閣府から許可証が交付され、10月1日付で「一般財団法人国学院大学院院友会」の登記を行い、新たな組織として再スタートしました。



令和元年度の院友大会の様子

## 教職員人事

- 【退職】(3月14日現在)
  - ◆**定年**
    - ◎文学部◇教授▷齊藤こそすゑ▷針本正行◎法学部◇教授(特別専任)▷中川徹也◎経済学部◇教授▷土田壽孝◎神道文化学部◇教授▷茂木貞純◎人間開発学部◇教授▷石川清明▷柴崎和夫▷野本茂夫◎大学事務局◇専任▷中條豊(学術メディアセンター事務部研究開発推進機構事務課主幹)▷井口良子(学術メディアセンター事務部図書館事務課(たまプラーザ)書記)
    - ◆**自己都合**
      - ◎文学部◇准教授▷松谷容作◎法学部◇教授▷関哲夫
      - ◎大学事務局◇専任▷堀口裕美子(学術メディアセンター事務部図書館事務課(神道文化学部資料室主査))
      - ◆**任期満了**
        - ◎研究開発推進機構◇助教▷武田幸也◎大学事務局◇嘱託▷春田華奈(神道研修事務部神道研修事務課)▷久保田裕美(たまプラーザ事務部たまプラーザ事務課)▷石川昌伸(陸上競技部コーチ)

以上、令和4年3月31日付

## 「国学院大学学報」購読のご案内

**本学の機関紙を定期購読してみませんか?**

「国学院大学学報」は、本学の学生・院友・教職員の活躍や、本学のニュースをお届けする機関紙(年11回発行、8月は休刊)です。年間購読料は500円(税込み・送料含む)。また、感想などはがき・封書・FAX・Eメールにて随時募集しております。卒業を迎える皆さままで、購読ご希望の方は、QRコードからお申し込みいただくか、広報課までご連絡ください。

お問い合わせ先

国学院大学総合企画部広報課  
〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28  
【電話】03・5466・0130(直通)  
【FAX】03・5466・0528  
【メール】kouho@kokugakuin.ac.jp  
【HP】https://www.kokugakuin.ac.jp/

院友会館

学長特別賞

Table with columns: 部門, 受賞者(団体), 受賞理由. Includes entries for 硬式野球部 and 井上 大希 (経4).

学生部長賞

Table with columns: 部門, 受賞者(団体), 受賞理由. Includes entries for 居合道部, キックボクシング部, 硬式野球部, and many individual students.



令和3年度学長特別賞・学生部長賞が決定

コロナ禍での活躍光る

国学院大学学生部は、令和3年度学長特別賞を1団体と2人に、学生部長賞を5団体と17人に贈ることを決定した。学生部長賞の表彰式は3月7日に渋谷キャンパスで行われ、宮内靖彦学生部長から賞状と副賞が授与された。写真。学長特別賞の表彰は3月20日に卒業式と合わせてグラウンドプリンスホテル新高輪(東京都港区)で行われる。

大学院博士後期課程 9人が課程博士号

大学院博士後期課程を修了する9人に対して、博士号が授与される。対象者氏名、学位の種類、論文題目、主査、副査などは別表の通り。

Table with columns: 氏名, 専攻, 論文題目, 主査, 副査. Lists 9 graduates and their supervisors.

博士号の授与

所屬別130期卒業生・修了生数(3月14日時点)
◎大学院◆博士前期課程修了
◆文学研究科55人
◆神道学・宗教学専攻5人
◆文学専攻20人
◆史学専攻30人
◆法学研究科▽法律学専攻4人
◆経済学研究科▽経済学専攻12人
◆博士後期課程修了
◆文学研究科8人
◆神道学・宗教学専攻2人
◆文学専攻3人
◆史学専攻3人
◆法学研究科▽法律学専攻0人
◆経済学研究科▽経済学専攻1人
◆博士後期課程所定単位修得退学
◆文学研究科14人
◆神道学・宗教学専攻3人
◆文学専攻5人
◆史学専攻5人

令和4年度

在学生対象 オリエンテーション・ガイダンス

国学院大学の令和4年度オリエンテーション・ガイダンスは3月31日から開始となる。新2～4年生が対象となる主な行事は別表のとおり（3月14日時点）。学部学科や学年、履修内容などで対象学生が異なるため、詳細については必ず大学ホームページやK-SMAPY IIで確認を行ってほしいと

渋谷キャンパス

Table with 6 columns: 行事・ガイダンス, 学部, 実施日, 時間, 会場, お知らせ. Rows include 健康診断, 在籍確認, 日本学生支援機構奨学金, 教職に関する各種ガイダンス, 国際交流 Go Global Week.

たまプラーザキャンパス

Table with 6 columns: 行事・ガイダンス, 学部, 実施日, 時間, 会場, お知らせ. Rows include 健康診断, 在籍確認, 日本学生支援機構奨学金, 各種ガイダンス.

新卒業・修了生の資格取得人数（3月14日現在）

令和3年度卒業・修了生（9月卒業含む）のうち、各種資格を取得した人数は次の通り。
(別科)神道専修II類 ▽権正階検定合格・授与1人
(別科)神道専修I類 ▽博物館学芸員90人(学部) ▽社会教育主事16人(学部)
▽図書館司書58人(学部)
▽学校図書館司書教諭24人(学部) ▽教職▽高校一種328人(学部) ▽中学一

若木育成会が成績優秀者表彰

若木育成会（森伸一会长）は、令和3年度卒業・修了生で優秀な成績を修めた次の学生を表彰する（敬称略）。
▽3年次卒業
▽文学部 ▽稲見知華（日文）、森兼由佳（外文）
▽経済学部 ▽橋本一真
▽人間開発学部 ▽上荒磯

神社界からの表彰

神職課程に学び、成績優秀な令和3年度卒業・修了生に対して神社界から次の各賞が贈られた（敬称略）。
▽神宮大宮司賞 ▽石原定典（神専攻） ▽重白和希（神1）
▽山口裕美（同）
▽神社本庁統理賞 ▽中田雄馬（神専攻） ▽篠原萌花（神文） ▽セレスト・ハルト（同） ▽森美琴（別神II）
▽東京都神社庁長賞 ▽今井俊（神専攻） ▽小林まりん（神文） ▽藤原かみ（同） ▽佐藤汰有（別神II）

全国保育士養成協議会からの表彰

全国保育士養成協議会は、会員校の令和3年度卒業生で優秀な成績を修めた、保育士としての活躍が期待される生徒を表彰し、本学では次の学生が対象となった（敬称略）。
▽箕浦雪乃（子支4）

「ご卒業おめでとう」が届きます

大学院の修了生・所定単位修得退学者には、本学から「オリジナル図書カード」、5学部・専攻科・別科の卒業生・修了生に

大学公認部会・サークルの新入部員勧誘期間

国学院大学公認部会・サークルの合同新入部員勧誘は、4月1日から9日のオリエンテーション・ガイダンス期間に行われます。新入生だけでなく、新2・3年生でも現在未加入で部会・サークル活動に興味がある方や、現在所属している部会・サークルに加えて



新たな活動に興味がある方は、この期間にぜひ各団体のブースで相談を行ってください。

# インフォダイジェスト

## 校 友 課

### ◎住所変更したら連絡を

卒業後に住所・氏名・電話番号・メールアドレス・勤務先などに変更があった場合は、はがき・メール・電話・FAXまたは国学院大学HP(卒業生⇒住所変更などのご連絡)で校友課に連絡をお願いいたします。

### ◎各種調査・個人情報について

本学が電話・郵便物などで院友の皆さまの個人情報について調査する場合は、「渋谷キャンパス所在地および国学院大学校友課名」で実施し、返送先・連絡先は校友課となります。本学と院友会は院友の皆さまの個人情報を共同で利用させていただいており、各種発送物が届出住所に配達できない場合は校友課および院友会から電話にてお問い合わせする場合がございます。郵便物・電話などで不審な点がございましたら回答せず、校友課までお問い合わせください。

#### ☎校友課

(☎03・5466・0131、☎03・5466・0185、  
✉soumu-kouyu@kokugakuin.ac.jp)

## 学 生 生 活 課

### ◎日本学生支援機構奨学金を返還する方へ

日本学生支援機構(JASSO)奨学金の貸与者は、次の要領で返還を円滑に行ってください。

- ①住所・氏名・勤務先・連帯保証人などに変更があった場合は、速やかにJASSOへ連絡してください。その際は奨学生番号が必要となりますので、「返還確認票」返還のてびき」を大切に保管してください。
- ②返還困難な状況が生じた場合、JASSOに減額返還や返還期限猶予を願い出ることができまのでJASSOに相談してください。

#### ☎日本学生支援機構奨学金相談センター

(☎0570・666・301 <ナビダイヤル>)

## 就 職 担 当 3 課 (キャリアサポート課・教職センター・たまプラーザ事務課)

### ◎卒業後にもご協力を、進路未定者は相談を

新卒業生の皆さんには、進路の別を問わずに学生の就職活動支援(OB・OG訪問など)にご協力をお願いします。また、進路未決定の方には継続して相談に応じ、教員求人は卒業後も紹介しています。お気軽にご利用ください。

#### ☎キャリアサポート課(☎03・5466・0151)

教職センター(☎03・5466・0152)

たまプラーザ事務課(☎045・904・7707)

## 教 務 課

### ◎証明書の発行方法

各種証明書の発行方法は、①学内の証明書自動発行機(在学当時の学籍番号とパスワードを使用)②郵送③窓口④コンビニエンスストア発行-の4通りです。①は即時発行、②③は原則として申請日から5業務日後の発行(郵送の場合は発送)、④については本学HP(卒業生⇒証明書発行)に詳細を掲載しています。英文成績証明書は約1週間後の発行または発送となります。

※休業期間や行事、機器メンテナンスなどで発行・発送に時間を要する場合がありますので、余裕をもった申請をお願いします

※申請時には身分証明書(健康保険証や運転免許証など)が必要となります。氏名などに変更があった場合は申請時に戸籍抄本(写)を添えてください

料①~③は1通500円(郵送発行は別途送料)

④は1通600円(別途印刷代1枚60円)

#### ☎教務課(☎03・5466・0135)

たまプラーザ事務課(☎045・904・7721)

## エクステンション事業課

### ◎オープンカレッジを開講しています

エクステンション事業課では、生涯学習の場として、神道・文学・歴史などの講座によるオープンカレッジを開講しております。令和4年度は、社会情勢を考慮し、渋谷キャンパスでの「対面」とZoomによる「遠隔(ライブ配信型)」の2つの手法により、20講座を開講いたします。院友には、入会金5000円を3000円とする割引制

度があり、オープンカレッジ会員には、エクステンション事業課主催の各種講座をご案内いたします。

この機会に、ぜひパンフレットをご請求ください。

☎エクステンション事業課(☎03・5466・0270)

## 図 書 館

### ◎卒業後も図書館を利用できます

卒業後も渋谷・たまプラーザ両キャンパスの図書館が利用(館内での閲覧、館外貸出、文献複写)できます。貸出冊数は和・洋書ともに5冊、日数は14日間です。遠方にお住まいの方で文献複写が必要な場合は、文書による申し込みもできます。

図書館カウンターで申し込むと、翌年4月末まで有効の「図書館利用者カード」(両館で使用可)を発行します。

#### ☎図書館事務課(☎03・5466・0159)

※カード発行には、運転免許証など現住所が確認できる身分証明書が必要です

## 人 事 課

### ◎格安料金で自然を満喫 厚生寮をご利用ください

国学院大学では、卒業生に対して厚生寮を格安料金で開放しています。

#### ▶叢隠寮(神奈川県箱根町)

叢隠寮は故折口信夫(釈道空)博士の別荘であった叢隠居を昭和33年に大学が譲り受け、これを保存するとともに宿泊施設を増築しました。寮には良質な温泉もあり、四季折々に変化する自然の中にある快適な保養所となっています。平成30年度に全面的な改築工事を行いました=写真。



料1泊2食付き9000円(入湯税含む)

※チェックイン15時、チェックアウト10時

☎利用日の1カ月前から人事課(☎03・5466・0105)で受け付けます。受け付け後に利用案内・申込書を送付します。詳細は本学HPでも案内しています。

#### ▶蓼科寮(長野県立科町)

蓼科高原にあり、夏は近くにある御泉水自然園の散策、冬はスキーと四季折々の自然を満喫できます。また、敷地内にはバーベキュー棟もあり、多人数で楽しめます。

料1泊2食付き4000円(冬期は暖房費を別途加算)

※チェックイン15時、チェックアウト10時

☎利用日の3週間前から人事課(☎03・5466・0105)で受け付けます。受け付け後に利用案内・申込書を送付します。詳細は本学HPでも案内しています。

## 総 務 課

### ◎広くご寄付を募っています

学校法人国学院大学では、私学としての公共性と独自性ある教育研究体制を確立するため、広くご寄付を募っています。本法人に対するご寄付は、専用用紙による申し込みとインターネット上でクレジットカード決済による申し込みが可能です。利用可能なクレジットカードは、VISA、MasterCardの2種類です。

募集するご寄付の種類は、「学生・生徒等の奨学基金」「学生・生徒等の活動支援」などに加え、学生の課外活動を支援するために役立てられる「課外活動支援(スポーツ強化部会など)」や「メッセージ募金」を設けています。「メッセージ募金」は、スポーツ活動や課外活動などに熱心に取り組んでいる在学生会や本学に向け、本学HPからメッセージを投稿してもらおう仕組みです。ワンコイン(500円)からご寄付が可能です。メッセージはそのままHPに公開されます(匿名可)。ぜひ後輩にエールをお寄せください。

各種募金に関する情報は、本学HP(<https://kifu.kokugakuin.ac.jp/>)で閲覧できます。

### ◎税制上の優遇措置

本法人への指定寄付金は、次の通り税制上の優遇措置を受けることができます。

個人=個人所得税については、特定公益増進法人への寄付金としての「所得控除」、または一定

要件を満たした学校法人などへの寄付金としての「税額控除」のうち、いずれかの税制を寄付者が選択し、確定申告を行うことで所得税が減免されます。なお、多くの場合「税額控除」を選択すると減免が大きくなります。個人住民税については、お住まいの自治体が条例により本法人への寄付を税額控除の対象と指定している場合に限り、確定申告を行うことで住民税が減免されます。

法人=特定公益増進法人に対する寄付金として扱われ、所定の計算式に基づく限度額まで該当事業年度の損金に算入することができます。寄付金の申し込みと納付が確認できたら、本法人発行の領収書と文部科学省発行の証明書をお送りしますので、確定申告などの税務手続きを行ってください。

### ◎受配者指定寄付金

日本私立学校振興・共済事業団が取り扱う制度で、この制度を利用して私立学校へ寄付をした企業等法人は、法人税法上、支出した寄付金の全額を損金の額に算入することが認められています。

### ◎遺贈による寄付制度

「遺贈による寄付」とは、院友・在学生の父母・教職員・一般篤志家が保有されている資産の一部を、将来遺贈の形で寄付していただき、本法人の教育研究活動のより一層の充実発展のために支援をいただく制度です。

本法人では、この制度を実施するにあたり、三井住友信託銀行と協定を結んでいます。本制度の利用を希望される場合は、総務課または最寄りの三井住友信託銀行までご一報ください。

☎総務課寄付金担当(☎03・5466・0111)

## 入 学 課

### ◎院友子弟等特別選考のご案内

国学院大学では、院友の子弟らを対象とした「院友子弟等特別選考」を実施しています。

本選考は、本学の学部、大学院、専攻科、別科などを卒業・修了された方の2親等以内の親族(配偶者、姻族を含む)であることが出願資格の1つとなります。その他の出願資格の詳細は、毎年5月下旬ごろに発行する「入試情報ガイドブック」に掲載しています。本学HP(<https://www.kokugakuin.ac.jp/admission/documentrequest>)からご請求ください。本学への進学を希望する親族の方がいらっしゃいましたら、本選考をご案内ください。

☎入学課(☎03・5466・0141)

## 国 学 院 大 学 生 協

### ◎卒業アルバムの購入受け付け中

大学生協では現在、卒業アルバムの購入を受け付け中です。先にお送りした郵便振替用紙(渋谷・たまプラーザ店舗でも配布中)か郵便局備え付けの郵便振替用紙をご利用いただき、通信欄に、学部・学科・学籍番号・郵送先住所を明記の上、郵便局の窓口でお振り込みください。5月6日(金)までお振り込みを受け付け、10月末ごろの発送になります。

※保護者が購入された場合、「卒業生本人が写っていない」と連絡が寄せられることがあります。写真撮影をされているか確認した上でお申し込みください

料1万3500円(消費税・送料込み)

☎振込先(加入者名)・口座番号=国学院大学生協同組合・00150-6-501528

### ◎オリジナルスイーツや人気グッズはいかが?

大学生協では、オリジナルスイーツの「国学院どらやき」(1550円)とコロパンとの企画による「国学院クッキー」(18枚入1080円、33枚入2160円)や、ぬいぐるみをはじめとした大学マスコット「こくびよん」グッズ、ブルゾンやキャップなどの本学オリジナルグッズを販売しています。配送も承っています。



左から、国学院どらやき、「こくびよん」グッズ、国学院クッキー

☎国学院大学生協同組合(☎03・5466・0169 または<https://www.kgucoop.or.jp>)